

民主党神戸市会議員団 News

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

神戸の魅力をもつまちづくりを目指して

平成25年第2回定例会市の9月議会は9月3日から10月11日まで開会され、9月9日の本会議では、**決算並びに関連議案について**民主党神戸市会議員団を代表して岩田よしあき議員と平木ひろみ議員が代表質疑を行いました。

代表質疑

岩田よしあき議員(西区)

Q 少子・超高齢化の進展に伴う社会保障費の増加により、引き続き、厳しい状況が予想されることから、今後、市民サービスの低下を招いたり、神戸の明るい未来像を描けなくなるのではないかと懸念しています。

A 医療産業の取組みにおいて、iPS細胞による世界初の臨床実験が開始されるほか、日本最大のメディカルクラスターの目標500社など都市間競争を勝ち抜き飛躍させることが必要である。

Q 平成24年度は「学びの基礎力向上推進補助員」の配置を年間9カ月に拡大したが、学校現場では、個別指導・個別対応・緊急対応できる体制の構築が求められている。正規教員の加配について、引き続き、県と協議するとともに、市独自で、補助員の配置を拡充していくべきと考えるかどうか？

A 「ともに生きる力」育成指導員を小学校に30校配置しており、補助員についても市単独事業として継続しているが、国に対し補助制度の拡充を求めたい。正規の加配教員の増員については、今後も引き続き県に要望していきたい。

Q 神戸市を代表する「ゆるキャラ」を作り、熊本県のくまモンのように、都市の魅力をPRすることも、観光施策の推進、市内経済の活性化の観点から重要である。新たなシティセールスの手段の一つとして検討してみる必要があるのではないかと懸念しています。

A 既にあるキャラクターを使った観光プロモーションを実施しており取り組みを続けたい。市民や観光客から親しまれ、愛される神戸の象徴となるキャラクターになってほしい。



平木ひろみ議員(中央区)

神戸の顔にふさわしい三宮駅周辺の再整備について

Q JR・阪急電鉄が、三宮駅改造計画を発表したが、神戸市も明確なビジョンを持って積極的に関与し、駅周辺の環境整備も含めて、未来の「神戸の顔」を魅力あるものとして民間と一緒に再整備していかねばならないと考えるかどうか？

A 神戸の玄関口としてふさわしい都市空間を作っていくために、今後も民間と共に、魅力ある、風格をもった三宮駅周辺整備を仕上げる必要がある。

神戸市の国際戦略について

Q 国際戦略には、対外的に人・もの・情報・金の行き交う貿易や人・企業の誘致と、生活者としての外国人が住みやすいユニバーサルなまちをつくる国際化の2つがある。多様なニーズがある神戸市の課題全般をとらえて国際戦略を進めるには、どんな機能が必要だと考えるのか、また今後どのように展開するのか？

A 都市間競争の中で本市の発展を図るため、今後も部局間や外部機関・団体との連携を密にしながら、時代ニーズにあった国際施策の推進に力をいれたい。



特別自治市について

Q 矢田市長は、これまで指定都市市長会会長としてどのように大都市制度改革を進め、地域主権を推進すべきだと考えてこられたのか、今後の取り組みはどうあるべきか。

A 都市の自立した持続的発展をめざし実現に向けて推進する。